

次期「あいち公共交通ビジョン（仮称）」の施策体系イメージ

* 現行の公共交通ビジョンからの変更点を示す。

現行ビジョン策定以降の社会情勢の変化からみた公共交通の課題	基本方針	取り組むべき施策の方向性
<p>○リニア中央新幹線の全線開業によりスーパー・メガリージョンが形成され、名古屋駅は世界中からヒト・モノ・カネ・情報が集まるセンターとして求心力が高まることから、名古屋駅のターミナル化や中部国際空港及び港湾の機能強化を進めるとともに、リニア開業効果を広域的に波及させる取組を進める必要がある。</p> <p>○国内外の広域的な移動需要に対応するため、空港と県内外の主要拠点とのアクセス利便性を向上させる必要がある。</p>	<p>活力 1「産業首都あいち」を牽引する交通体系の構築</p>	<p>(1) スーパー・メガリージョンのセンターを担う大都市圏づくりに資する公共交通ネットワークの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋駅の乗継利便性の向上 ・リニア中央新幹線開業効果の広域的な波及 ・リニア中央新幹線中間駅の利活用 ・空港・港湾の機能強化 <p>(2) 空港を拠点とする広域的な公共交通ネットワークの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中部国際空港（セントレア）へのアクセス利便性の向上 ・県営名古屋空港へのアクセス利便性の向上
<p>○ジブリパークやアジア競技大会等の開催、各種イベント・コンベンションの誘致を進めており、国内外からの来訪者の増加が予測されることから、来訪者のニーズに対応した移動の利便性や回遊性を向上させる</p> <p>○ライフスタイルの変化などを背景に、県民の生活行動は広域化・多様化していることから、広域的な公共交通ネットワークの確保・維持とともに、交流・対流を促進する情報提供や経路検索の充実を図る必要がある。</p>	<p>交流 2「交流拠点あいち」を支える交通体系の構築</p>	<p>(1) 観光交流を促進する公共交通ネットワークの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光地への公共交通アクセス充実 ・観光客等の利便性向上 ・MaaSの社会実装の推進 ・オープンデータ化の推進による情報提供の充実 <p>(2) 地域の交流・対流を促進する公共交通ネットワークの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通行動の広域化に伴う地域間連絡軸の形成 ・MaaSの社会実装の推進（再掲）
<p>○県内各地では、立地適正化計画に基づく集約型まちづくりやスマートシティの実現に向けた取組が進められており、効果的・効率的な公共交通ネットワークを形成するためには、まちづくりと公共交通の連携（コンパクト+ネットワーク）を推進する必要がある。</p> <p>○公共交通相互及び公共交通とその他の移動手段との連携による移動の利便性を高めるため、ハード整備・ソフト対策の両面から交通結節点機能の充実を図る必要がある。</p>	<p>コンパクト 3「集約型まちづくり」を支える交通体系の構築</p>	<p>(1) まちづくりと連動した計画的な公共交通ネットワークの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集約型でスマートなまちづくりを支える公共交通ネットワークの形成 <p>(2) 乗継拠点における多様なモード間の連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通結節点における乗継利便性の確保 ・公共交通と連携した自転車活用の推進
<p>○新型コロナウイルス感染症は、人々の行動・意識・価値観に大きな影響を及ぼしている。また、南海トラフ地震や頻発・激甚化する台風、豪雨などの自然災害は依然として脅威であり、これら感染症や自然災害等への予防・対策を適切に講じる必要がある。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の拡大により、公共交通の利用者や収入は大きく減少し、交通事業者は厳しい経営環境に置かれている。安定的なサービスを提供するため、減少した利用者の回復に資する取組を展開する必要がある。</p> <p>○人口減少に伴う公共交通輸送人員の減少や、少子・高齢化の進展に伴う移動需要の変化が予測されることから、地域における輸送資源を総動員しつつ、新型輸送サービスを含め、地域に最適な移動手段を確保する必要がある。</p>	<p>安全・安心 4「安心して住めるあいち」を支える交通体系の構築</p>	<p>(1) 安全・安心な公共交通サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い公共交通ネットワークの形成 ・新型コロナウイルス感染拡大予防対策の推進 ・ウイズコロナ・アフターコロナを見据えた公共交通の需要回復の取組 ・MaaSの社会実装の推進（再掲） <p>(2) 先端技術を活用した交通安全対策と移動手段の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通輸送における交通安全の確保 ・新型輸送サービス（AI オンデマンド交通、グリーンスローモビリティ、自動運転等）を活用した移動手段の確保 <p>(3) 地域特性に応じた生活交通の確保・維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸送資源の総動員による持続可能な移動手段の確保・充実 ・地域で公共交通を支える仕組みの構築 <p>(4) 高齢者や移動困難者も安心して暮らせる人にやさしい交通体系の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが安心して公共交通を利用できる環境の創出 ・高齢者の公共交通利用促進
<p>○過度なマイカー利用による交通渋滞の緩和や温室効果ガス排出を抑制するため、交通行動の変容を促す取組や公共交通の利用を促進する取組を展開するとともに、環境性能に優れた次世代自動車の普及を促進する必要がある。</p>	<p>環境 5「環境首都あいち」を支える交通体系の構築</p>	<p>(1) 環境首都あいちに相応しい公共交通機関の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境にやさしい公共交通の実現 <p>(2) 公共交通の利用促進に向けた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過度な自家用車利用からの転換を促す取組 ・公共交通の利便性等を高める取組

ビジョン施策体系 比較

【現行ビジョン】

基本方針		取り組むべき施策の方向性
活力 1「産業首都あいち」を牽引する交通体系の構築	(1) リニア開業効果を高める公共交通ネットワークの形成	・名古屋駅の乗継利便性の向上 ・名古屋駅のアクセス利便性向上 ・リニア中央新幹線中間駅の利活用
	(2) 空港を拠点とする広域的な公共交通ネットワークの充実	・中部国際空港（セントレア）へのアクセス利便性向上 ・県営名古屋空港へのアクセス利便性向上
交流 2「交流拠点あいち」を支える交通体系の構築	(1) 観光交流を促進する公共交通ネットワークの充実	・観光地への公共交通アクセス充実 ・観光客等の利便性向上
	(2) 地域の交流・対流を促進する公共交通ネットワークの形成	・交通行動の広域化に伴う地域間連絡軸の形成
コンパクト 3「集約型まちづくり」を支える交通体系の構築	(1) まちづくりと連動した計画的な公共交通ネットワークの形成	・集約型まちづくりを支える公共交通ネットワークの形成
	(2) 乗継拠点における多様なモード間の連携強化	・交通結節点における乗継利便性の確保
安心安全 4「安心して住めるあいち」を支える交通体系の構築	(1) 災害に強い公共交通ネットワークの形成	・災害に強い公共交通ネットワークの形成
	(2) 新たな技術等を活用した交通安全の確保	・公共交通輸送における交通安全の確保
	(3) 地域特性に応じた生活交通の確保・維持	・地域住民の生活を支える公共交通ネットワークの形成 ・地域で公共交通を支える仕組みの構築
	(4) 高齢者や移動困難者も安心して暮らせる人にやさしい交通体系の創出	・誰もが安心して公共交通を利用できる環境の創出 ・高齢者の公共交通利用促進
環境 5「環境首都あいち」を支える交通体系の構築	(1) 環境首都あいちに相応しい公共交通機関の充実	・環境にやさしい公共交通の実現
	(2) 公共交通の利用促進に向けた取組の推進	・過度な自家用車利用からの転換を促す取組 ・公共交通の利便性等を高める取組

【次期ビジョン（イメージ）】

基本方針		取り組むべき施策の方向性
活力 1「産業首都あいち」を牽引する交通体系の構築	(1) スーパー・メガリージョンのセンターを担う大都市圏づくりに資する公共交通ネットワークの形成	・名古屋駅の乗継利便性の向上 ・リニア中央新幹線開業効果の広域的な波及 ・リニア中央新幹線中間駅の利活用 ・空港・港湾の機能強化
	(2) 空港を拠点とする広域的な公共交通ネットワークの充実	・中部国際空港（セントレア）へのアクセス利便性向上 ・県営名古屋空港へのアクセス利便性向上
交流 2「交流拠点あいち」を支える交通体系の構築	(1) 観光交流を促進する公共交通ネットワークの充実	・観光地への公共交通アクセス充実 ・観光客等の利便性向上 ・MaaSの社会実装の推進 ・オープンデータ化の推進による情報提供の充実
	(2) 地域の交流・対流を促進する公共交通ネットワークの形成	・交通行動の広域化に伴う地域間連絡軸の形成 ・MaaSの社会実装の推進（再掲）
コンパクト 3「集約型まちづくり」を支える交通体系の構築	(1) まちづくりと連動した計画的な公共交通ネットワークの形成	・集約型でスマートなまちづくりを支える公共交通ネットワークの形成
	(2) 乗継拠点における多様なモード間の連携強化	・交通結節点における乗継利便性の確保 ・公共交通と連携した自転車活用の推進
安全・安心 4「安心して住めるあいち」を支える交通体系の構築	(1) 安全・安心な公共交通サービスの提供	・災害に強い公共交通ネットワークの形成 ・新型コロナウイルス感染拡大予防対策の推進 ・ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた公共交通の需要回復の取組 ・MaaSの社会実装の推進（再掲）
	(2) 先端技術を活用した交通安全対策と移動手段の確保	・公共交通輸送における交通安全の確保 ・新型輸送サービス（AI オンデマンド交通、グリーンスローモビリティ、自動運転等）を活用した移動手段の確保
	(3) 地域特性に応じた生活交通の確保・維持	・輸送資源の総動員による持続可能な移動手段の確保・充実 ・地域で公共交通を支える仕組みの構築
	(4) 高齢者や移動困難者も安心して暮らせる人にやさしい交通体系の創出	・誰もが安心して公共交通を利用できる環境の創出 ・高齢者の公共交通利用促進
環境 5「環境首都あいち」を支える交通体系の構築	(1) 環境首都あいちに相応しい公共交通機関の充実	・環境にやさしい公共交通の実現
	(2) 公共交通の利用促進に向けた取組の推進	・過度な自家用車利用からの転換を促す取組 ・公共交通の利便性等を高める取組